

SunSystems 導入の ポイント

- 多言語&多通貨対応
- 製品の信頼性と豊富な
導入実績
- グローバルな汎用性
- 短期導入
- 柔軟なインターフェイス

導入効果

- 月次決算のスピード
アップ
- 経営データの可視化
- 経理・管理業務の
工数削減

→ 売上高1000億円を目指し 業務プロセスを改善

「21世紀はナノテク、バイオの時代」とよく耳にします。経済が低迷する日本ですが、2人のノーベル賞受賞者を輩出するなど研究開発力はいまだに世界でも最高水準にあります。そうした中で「世界でも最先端の装置メーカー」と言える企業が日本電子株式会社（JEOL）です。

JEOLは、電子顕微鏡をはじめとする電子光学機器や質量分析計、半導体関連機器を提供しており、ナノテクノロジーやバイオテクノロジー、光通信などの最先端科学分野における製品力や市場優位性の高さで、1949年の設立以来各国の大学や研究機関から高い評価を得ています。2002年の連結売上高は828億円に上り、そのうち約40%を欧米をはじめ14カ国に展開する海外拠点が生み出している日本屈指のグローバル企業です。

JEOLグループは2001～2003年度の3カ年にわたる中期経営計画「Bright Plan 1000」を展開し、事業構造の変革と利益体質の強化に努めており、本計画に基づいた業務プロセス改革の一環として、海外子会社を含めた月次連結決算の実施を決めました。これは同時に、2003年から制度化される四半期連結決算の義務化への対応でもありました。

ここで問題となったのは、シンガポール法人のJEOL ASIAが月次決算を行うのは難しい状態にあったこと。さらに、JEOL ASIAには経理専門のスタッフがおらず、経理業務はアウトソ

JEOL



ースに頼っていました。決算業務としては3ヵ月に一度、財務諸表などが作成されるだけで、業績をタイムリーに把握することは不可能な状態。そこで、月次決算の実現を含め、これらの課題を解決するためにJEOL ASIAの会計システムとして導入されたのが「SunSystems(サンシステム)」でした。

「経営データの可視化」がつくる 正のスパイラル

「SunSystemsへの満足度は90点以上」と話すのは財務本部経理部で統括部長を務める別府雅道氏。導入によって、JEOL ASIAは月次決算をわずか3日で締められるようになり、目標どおり月次連結会計が実現しました。結果的に、全海外拠点の業績データを毎月把握できるようになり、さらには、このデータを全社的な需要予測の精度向上につなげることも可能になるなど、経営者にとって重要な情報が簡単に取得できるようになったのです。

SunSystems 製品

SunSystems Financials

→ 元帳会計

→ 多通貨機能

SunSystems Analytics

→ Vision XL

データベース

→ Microsoft SQL 2000

プラットフォーム

→ Microsoft Windows 2000

業種

→ 理科学機器メーカー

地域

→ 本社：日本

→ 導入地：シンガポール

例えば、OLAP分析を行う「Vision XL」を利用することで、製品系列別損益管理、販売・サービスなどの部門別損益管理、経費明細別の前年度比較や、事前計画との比較など、管理会計も可能にしました。

従来の経理担当者は、こうしたデータを手作業で作成したり、入力ミスの有無を検証する業務に追われていましたが、SunSystemsの導入で作業負担は減り、より戦略的な数字分析に時間を割けるようになったのです。

実質的な導入期間は わずか15日余り

2002年10月にカットオーバーしたJEOL ASIAの会計システム。同年7月に導入検討の話が出たとき、「最初は、次の年の10月にカットオーバーするものと勘違いされた」と別府氏は笑います。実質的な導入期間は、事前のヒアリングなどを除くと、日本での設定に10日間、現地での導入に5日間ほどと、驚くほど短いものでした。JEOL財務本部経理部関係会社経理グループの瀧澤秀樹氏は、「初めは商習慣や仕組みの違いに戸惑いや苦労などがありましたが、現地の求める要求は達成できたと思います」と語っています。

他拠点への展開も視野に入れた システムデザイン

別府氏はSunSystems採用の理由について、製品としての完成度が高かったことを挙げます。そのほかにも、多言語への対応や多通貨の処理、導入実績の豊富さなどもプラスに評価



(財務本部経理部 統括部長 別府 雅道氏)

しました。さらに、本社で利用している連結会計パッケージなど、異種システムとの連携も容易に行えるインタフェースが提供されていることにも注目しました。

また、システム導入を手がけたアイピーコンサルティングの嶋野淳氏は、「SunSystemsは長年にわたり多くの企業が利用してきた実績があり、システムとして安定している点も評価した」と話しています。SunSystemsを導入後、JEOL ASIAの業務効率は大幅に高まり、世界の各支社のトップからも驚きの声が上がりました。

SunSystemsを提供する英システムズユニオンは、東京のほか、ヨーロッパ、アジア各国の主要都市に法人を持っており各国でのローカルサポートが受けられます。また設計段階でも「シンガポールに導入する際に、他拠点への将来的な展開も視野に入れ、どの国でも使えるようにデザインしたので問題ない」と別府氏は語っています。

現在シンガポールでJEOLのビジネスの一翼を担っているSunSystems。今後の拡張展開が期待されます。

システムズユニオン株式会社

〒102-0075
千代田区三番町 6-2 6
住友不動産三番町ビル 3F
TEL : (03)3264-9054
FAX : (03)3264-9070
URL : <http://www.systemsunion.co.jp>
e-mail : jmarketing@sunsystems.com

日本電子株式会社 (JEOL Ltd.)
本社 : 東京都昭島市武蔵野3丁目1番2号
設立 : 1949年5月30日
資本金 : 44億2,650万円
従業員数 : 3,129人 (連結)
(2003年3月31日現在)

(C)2003 Systems Union Ltd.
システムズユニオン、サンシステムは当社の登録商標です。一般にその他の製品名は他社の商標または登録商標です。